

## 静岡市葵区 竜南こども園 園長 太田嶋俊彦先生

今回、取材に訪問した竜南こども園は静岡市葵区の中東部に位置し、同区内に姉妹園として、あゆみ保育園、あゆみ第二こども園、子育て支援センターあゆみ、竜南乳児園がある園です。園の隣には公立の竜南小学校があります。すぐ横の幹線道路は商業施設も沢山あり車通りもかなりある立地です。そんな



中、園内に入ると子ども達の落ち着いた遊び声が聞こえ、太田嶋俊彦園長先生が世話をしている沢山の生き物たちが園長先生と共に我々取材班を迎えてくれました。玄関ホールから子ども達の靴箱やピロティ付近にかけて熱帯魚、亀、ウーパールーパー、モズクガニ、ゲンゴロウ：何種類の生き物が居るのでしよう。ハーブやオリーブの木々も植木鉢やプランターで園内に配置され、綺麗でお洒落な作りになっています。

定員は一五〇名で、〇歳児十二名、一歳児二十四名、二歳児二十四名、三、四、五歳児は各三十二名ほどが在園しているそうです。園舎や園庭の作り方なのか本当にそれだけの人数が居るのかと思えるほど穏やかな感じを受けました。園庭は芝生の広場を中心に築山やビオトープ、樹木や畑が配置されています。いわゆる大型の遊具はなく、自然物中心に作られた一、〇〇〇mはある園庭を子ども達は走り回ったり、三輪車で爆走したりしています。園長先生ご自慢の大きなビオトープは子どもが入っていいのかお聞きしたら、「もちろんです。」と答えが返ってきました。「もちろん魚やヌマエビを取ったり築山や森で虫を取っているそうです。取材当日は少し寒くなっていたのでビオトープに入っている子は居ませんでした。地下水を汲み上げているポンプ

もすぐ脇にあつて夏は子ども達の遊びの中心になること間違いなし！と勝手に思っていました。なんと二階のベランダにも一回り小さいビオトープがありました。両方とも常葉大学名誉教授山田辰美先生監修で作られているそうです。羨ましい限りです。また、園内外共に自然がいっぱいでしたが、ICTのシステムも充実していました。登降園システムの他にも、図書の自動貸し出しシステムなども入っていました。行事や普段の様子も携帯で撮影し保護者のみに動画などで配信しているそうです。

給食室も広く調理している様子が見える作りになっていました。保育士さん曰く「本当においしい給食なんです。自慢出来ます。」と。取材班の全体的な感想は施設や職員さん、子ども達、園紹介のパンフレットすら品よく感じました。笑

お忙しい中に快く取材させていただきまして太田嶋俊彦園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼を申し上げます。有難うございました。

